

令和元年度第 25 回

一般社団法人和歌山県有床診療所協議会定時社員総会議事録

日時 令和元年 6 月 1 日（土）17 時 00 分

場所 和歌山市・法人事務局会議室（風神会計事務所内）

出席者 辻 興（議長兼議事録作成者） 他 20 名（委任状・書面によるものを含む） 合計 21 名

総社員の議決権の総数 21 個

以上のとおり、定足数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、定款の規定により、代表理事辻興は、議長席につき、本定時総会は適法に成立したので、開会する旨を宣した。議案の審議に先立ち議事録署名人として社員宮本克之氏を選任し、直ちに議事に入った。

【報告事項】

平成 30 年度事業監査報告

宮本克之監事による平成 30 年度事業監査が平成 30 年 4 月 15 日に実施され、報告がなされた。

【協議事項】

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告について

和歌山県有床診療所協議会定款第 14 条の規定に基づき、平成 30 年度（自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日）に実施した事業実施状況について社員の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第 2 号議案 平成 30 年度決算について

和歌山県有床診療所協議会定款第 14 条の規定に基づき、平成 30 年度決算について社員の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第 3 号議案 令和元年度事業計画について

和歌山県有床診療所協議会定款第 14 条の規定に基づき、2019 年度に実施予定の次の事業について社員の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

《令和元年度事業計画》

①県下有床診療所の一致団結を促し、各有床診療所が地域で果たしている役割の周知と、更なる有効活用に向けて、県民や行政に情報発信を行なう。

②全国有床診療所連絡協議会との連携のもと、次世代に継承・永続可能な有床診療所の経営環境を実現する為、果たしている病床機能に相応しい入院基本料引上げを求める。

③地域医療構想調整会議において、有床診療所特有の 5 つの病床機能の理解を促し、有床診療所の 6 番目の病床機能として、「医療と介護を一体的に提供する機能（仮）」の周知に努め、医療政策上の有効活用を促進する。また、貴重な医療資源である産科有床診療所の病床削減審議からの除外を促す。

④在宅復帰率において病院回復期リハ病棟と遜色の無い実績を上げ、入院基本料も安い有床診療所での回復期リハの周知を促す。また、有床診療所「回復期リハ病床」の創設を働き掛ける。

⑤有床診療所病床を用いた、より安全・安心なショートステイの周知を行ない、有床診療所の介護事業参入を促す。

⑥協議会ホームページを有効活用し、各会員の有床診療所が地域で担っている役割を発信し、12月4日の「有床診療所の日」記念行事等を用いた広報活動を促進する。

⑦本邦唯一の法人格を有する有床診療所協議会として、他の都道府県有床診療所協議会の法人設立の為の情報提供や支援を行なう。

⑧近畿ブロック会活動への参加と、協議会未設立の奈良県、京都府、大阪府への設立支援を行なう。

第4号議案 令和元年度予算について

和歌山県有床診療所協議会定款第14条の規定に基づき、令和元年度予算について社員の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

第5号議案 次期理事・監事の選任について

和歌山県有床診療所協議会定款第14条の規定に基づき、和歌山県有床診療所協議会役員を選任について次の理事候補者、及び監事候補者の選任について社員の承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

《一般社団法人和歌山県有床診療所協議会 次期理事・監事》

理事：辻 興、辻 寛、勝田 仁康、児玉 敏宏、木下 泰伸、北山 俊也

監事：木下 欣也

※役員任期：令和元年度定時社員総会（6月1日）～令和3年度最初に開催される定時社員総会迄

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、17時40分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長がこれに記名押印する。

令和 元年 6月 1日

一般社団法人和歌山県有床診療所協議会 定時社員総会

議長 代表理事 辻 興 印

議事録署名人 宮本 克之 印